

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	バングラデシュ国
2. 案件名	バングラデシュの地方中学校における ICT(デジタル指導書・デジタル学習教材・LMS)を活用した理数学力向上事業
3. 事業の背景と必要性	バングラデシュ人民共和国（以下「バ国」）では、持続可能かつ公平な経済成長の実現と貧困からの脱却による中所得国化の実現を目指すなか、国の経済発展に資する産業界のニーズに即した人材の育成が求められている。産業界が必要とする人材を育成するため、初等理数科教育の質向上を目指すとともに、技術・高等教育および中等教育においても、量、質ともに改善を図る必要がある。他方、バ国教育現場においては、地域間教育格差および、COVID-19 時の長期学校閉鎖による学びの遅れが課題となっており、ICT/DX 活用により解決することが期待されている。本事業ではバ国の地方中学校生徒が学年相当の理数学力を身に付けられるよう、デジタル指導書、デジタル自習教材、学習管理システム（Learning Management System。以下「LMS」）を開発・実証し、全国展開に向けたモデルケース構築を目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域における教師の指導力強化と保護者の学習支援参画により、生徒の理数学力が向上する環境が整備される
5. 対象地域	チャンドプール県（パイロット事業実施パートナー自治体） 全国 64 県（オンライン研修対象地域）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	【直接受益者】理論・暗記中心の試験対策に偏り教育現場での指導力が不足している 理数教員 1,500 人、20 校 【間接受益者】上記教員が受け持つ生徒 30,000 人
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1.学校課題が特定され、ICT ツール(デジタル指導書・デジタル自習教材・LMS)が開発される 2. (デジタル指導書の実証と改良により)理数教員の指導力が向上する 3. (デジタル自習教材の実証と改良により)ICT を活用した自習時間の有効活用が進む 4.保護者の学習支援参画(家庭学習における LMS の実証と改良) が進む 5.活動成果が発信され他地域への普及が促進される <活動> 1. 対象地域の教員の指導力、生徒の学力、家庭における ICT 利用環境調査、調査結果をふまえた ICT 教材開発 2. パイロット校の教師対象のワークショップ、授業モニタリング、指導書の改訂 3. パイロット校の生徒対象の学力調査、デジタル自習教材の改良と活用促進 4. パイロット校の生徒保護者を対象 LMS 導入支援および利用モニタリング 5.全国展開にむけた全国教員向けワークショップ、事業成果発表カンファレンス、教育省に対する政策提言

8. 実施期間	(西暦) 2025年9月～2028年5月 (2年8カ月)
9. 事業費概算額	92,287千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	カウンターパート：バングラデシュ工科大学調査・試験・コンサルティング局 (協力機関：BacBon Ltd.)
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	認定 NPO 法人 e-Education
2. 主な活動内容	「最高の教育を世界の果てまで」をミッションとして掲げ、途上国で ICT を活用した教育支援を実施している。バングラデシュでは 2010 年の創業以来、継続的な支援活動の実績がある。